



## 【 「相撲場」(低学年グラウンド) 】

- 低学年グラウンドには、相撲場があります。学校に相撲場がある学校は、南砺市の他の小学校（1校だと思えますが）にもありますが、砺波地区や県全体で見ると、あまりないと思います。
- これは、**昭和61年10月に、ショッピングセンター「サンモール」の寄付**により、完成したそうです。「サンモール」とは、今の「アスモ」の前身です。詳細は分かりませんが、以前に私が井波小学校に勤務していた平成4年に、「サンモール」から「アスモ」に変わったことを覚えています。
- そして、完成記念として、**北の湖親方を招聘して土俵開き**を行ったそうです。そのとき、**富山市水橋出身の花乃若（後の駒不動）が相手を務めた**とのこと。日頃、何気なく見ている土俵ですが、寄付された方や関係者の方々等の気持ちが込められた土俵であり、**約37年間井波小学校を見守ってくれた土俵**なのだと、感慨深い思いをもちます。
- 土俵に関して、私が井波小学校に勤務した平成3年度のことが思い出されます。当時は、8月に高瀬神社で相撲大会が開催されており、井波小学校も参加していました。私は6年生を担当していたので、子供たち5、6人を集め、高瀬神社の大会に向けて夏休みに相撲の練習をしていました。私は裸になり、短パンにまわしを付けた子供たちとぶつかっていました。
- また、当時、相撲場を使わなくても、体育の時間に相撲をし、相撲大会をしたこともありました。現在は時代も変わり、学校で相撲を行うことはありません。貴重な相撲場を活用するには、例えば、総合的な学習の時間を利用して、相撲にまつわる学習を展開することも考えられます。
- いずれにしても、普段意識しない相撲場を見つめ、その**歴史や存在意味を改めて知ったり考えたりすることが大切だ**と思っている次第です。

